

福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

福井県大釜屋・西山窯跡群出土品

～国重要文化財 指定答申に至るまで～

このたび国の文化審議会は、福井県越前町に所在する大釜屋窯跡群(越前町平等)および西山窯跡群(越前町織田)の出土品合計 326 点について、重要文化財(考古資料)として新規に指定することを文部科学大臣に答申しました。ここでは、発掘調査からはじまり答申に至った経緯について、写真と共にご紹介いたします。

平成8(1996)年

西山窯跡群について、県営ふるさと納税整備事業に伴い発掘調査が実施されました。この調査によって、甕・片口鉢などの日常品に加えて刻画文のある壺などの特殊な焼き物も見つかり、西山窯跡群が鎌倉時代中期頃に盛んに越前焼が焼かれていた生産遺跡であることが明らかになりました。



未完成窯土層断面



灰原土層断面



遺物出土状況



発掘作業風景

平成15(2003)年度

大釜屋窯跡群を対象に、県営ふるさと林道緊急整備工事(厨～小曾原線)にともなう発掘調査を実施しました。過去にも発掘調査は行われていましたが、今回の調査によって、越前焼の生産が少なくとも鎌倉時代後期にまでさかのぼることが明らかになりました。また、本調査によって元享元年(1321)八月十八日銘のすり鉢が出土しています。



未完成窯



灰原土層断面



炭窯



発掘作業風景

平成25(2013)年度

福井県教育委員会は、平成 22 年から 27 年にかけて、越前焼の全体像を歴史・文化的側面から明らかにするため、越前窯の分布・発掘調査とそれともなう表彩・出土品の調査などを国庫補助事業を受けて体系的に進めました。その調査の一環として、平成 25 年度に西山窯跡群を対象に窯本体等の調査が実施されました。出土品には、片口鉢や焼台などがあります。



1号窯発掘調査前



1号窯の分焰柱



1号窯発掘調査後



発掘作業の様子



2号窯発掘調査前



2号窯発掘調査後

平成 30(2018)年

西山窯跡群出土品の一部が福井県有形文化財(考古資料)に指定されました。

令和8(2026)年3月

大釜屋窯跡群・西山窯跡群出土品合計326点について、重要文化財(考古資料)として新規に指定することを国の文化審議会が文部科学大臣に答申しました。



西山窯跡群出土品



大釜屋窯跡群出土品